



「よべる」

加藤 泉

私は共同ホーム一步で生活をしています。一步での朝は6時に起きて、洋服に着替えてご飯を食べて、歯磨きとトイレをすませてから作業所にいきます。

作業所から帰るとトイレやお風呂に入り、テレビをみて、自分の部屋でくつろぎます。最近、生活をしていて困った事があります。それは、夜中のトイレの時に、介助の人を呼ぶ機械が壊れたことです。

その機械は「よべる」という名前で、夜勤をしてくれる人のところに子機を置いて、私の部屋には親機を置いて、トイレの時や困ったときに人を呼ぶものです。

その「よべる」の調子が悪くて、一度修理に出しました。けれど、修理からかえてきて、一日ですぐ壊れてしまいました。

たった一日使っただけなのに、なぜ壊れちゃったのかなって思っているところです。早く直してほしいです。

# とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班  
〒187-0033 小平市中島町3-8  
TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp  
http://www.asayake.or.jp/kaze.html

No.327  
2021年3月20日

詩  
集

くつ した  
靴 下

くつした ふつう ながさきくつした  
ロング靴下・普通の長崎靴下  
くつした ちょう くつした  
ショート靴下・超ショート靴下

なつ くつした  
夏はショート靴下  
ちょう くつした ほう  
超ショート靴下の方が  
あし すず うれ  
足も涼しくて嬉しがっているよ

ふゆ  
冬になれば  
あし さむ まも  
足を寒さから守るために  
くつした は  
ロング靴下を履いて  
あし あたた  
足を暖かくして  
あし あし よろこ  
足もぬくぬくなって足は喜んで  
くつした  
ロング靴下にありがとうと  
あし い  
足が言っているよ



「薬のせいかな…？」

柳原 昭三

昨年の3月頃にある病気が発見されました。放射線治療をやることが決まりました。放射線治療は9月から開始することになりました。放射線治療を受けるには、5月頃から男性ホルモンを弱める薬を飲まなくてはなりません。

薬の服用を1ヶ月、2ヶ月続けると男性ホルモンが弱まり、その頃からだと思えます。食事の時に、前から食べ物を少しこぼしていたけど、気がつけばこぼす量が大量になっていました。加えて食べ物を口に入れると、舌が外に出てしまい、食べ物が口から外に出る症状が出始めました。僕自身でも、飲み込む力が弱くなってきていると感じています。

一步の職員には今、食事をしている時に僕が気になっている点、困っている点を正直に話しました。

訪問歯科のみその歯科の人に相談して、なるべく舌が前に出てこない食べ方を一緒に考えてくれることになっています。

僕の考えでは、放射線治療を受けるために男性ホルモンを弱める薬を飲み始めてから、食べ方がおかしくなってきたと感じています。

短  
歌

竹内 桃子

一、知らぬ間にそっと置かれたる  
一、生かされていること感謝し  
難あられ母の有り難さ解るこの頃  
日曜は教会に行く身支度して貰う



Shozo